



よら
い
や
ら
い
や

公民館



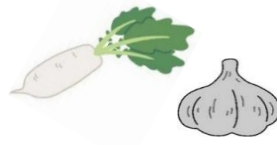
初めての取り組み「シニアの集い」大好評！

9月15日の敬老の日、まちづくり協議会福祉支援部が初めて企画した「シニアの集い」が開催されました。受付をしたら、まず「館長さんとじゃんけん対決」。何歳になってもじゃんけん勝負は楽しいですね。いきなり盛り上がりました。でも、ここからが本番、クイズに答えながら、ホールインワンゲームや輪投げなど、8つのコーナーを体験しました。その中で、「ネイル体験」は、爪に色を付けるのが受け入れられるかどうかちょっと不安でしたが、蓋を開けてみれば大盛況。終了間際まで絶えず空き無しの状態でした。また、レコード鑑賞も懐かしのレコードが多く、普段からやってほしいという声も聞かれました。さらに、「太鼓の達人」は、毎月1回定期的に公民館事業で実際にやっているメンバーが主体となって、初めて体験する方に対して説明したり支援したりして盛り上がりました。

シニアの集いを通して私が感じたのは、福祉支援部員の頭脳を合わせたらすごい力が出せるということです。『高齢者の交流の機会を持って楽しんでもらおう』という目的に沿って、次々にいいアイデアが出て、それに向かっての準備も楽しそうにやっておられました。「頭を合わせる」とでも言いましょうか……。こういう押しつけではない、自分でやりたいと思うことをするのが「まちづくり」の本来の姿ではないかと思いました。



とくさんの畑日記



稲刈りは10月号に間に合わないので、今回は[畑日記]復活です。次回はいよいよ収穫です。

さて、去年は猛暑とダイコンハムシにやられて大根が全くできず、大変残念な思いをしました。

そこで、今年は種を蒔くタイミングを変えてみました。最初の種蒔きは8月26日、早いでしょう！猛暑小雨の日が続いたのに、この日は午後雨が降るという予報だったので、「今だ!!」と思って種を蒔きました。その成果かどうかは分かりませんが、写真のように今年は早くも大根が大きくなっています。最も、次の週に蒔いた種はいつまで経っても芽が出ず、掘ってみたら何もありませんでした。多分、猛暑で種が焼けてしまったのでしょう。そこには2回目を蒔きました……。

このように、同じ「8月下旬～9月」と言っても、雨のタイミングも関係あるのかな(?)と学習した大根の種蒔きでした。



いつもは失敗ばかりなのに、今は順調な大根

シリーズ 知っていましたが、青谷のこと？ 青谷の翔平（広島カープ）を知っていますか？

青谷小学校に横断幕が掲げてあるのでご存知でしょうが、青小・青中卒業の森翔平さんが、広島カープに入り活躍しています。今年は先発ローテーション入りしています。そこで、森翔平さんの父親の森寛之さんに、息子さんのお話を伺いました。

◎どんなお子さんだった？

・活発で、外で遊ぶのが好きでしたね。

◎いつ頃からプロを目指すようになった？

・小学生の頃からプロ野球の選手になりたいと言っていましたね。

◎プロになるまでは、どのチームに？

・小学校は統合前だったので、1、2年生は中郷スポ少、3年で日置が加わり、4年で統合して青谷スポ少、中学で鳥取ボーイズ、鳥商、関西大学、三菱重工を経て、ドラフト2位で広島カープに入りました。

◎プロの世界に入って、本人はへと？

・球団に入るのが目標ではないので、結果を残したいと言っていました。4年目で7勝し、完投勝ちもできたので、ある程度結果が出てきたと思います。

◎本人と連絡は取っている？

・投げた日は必ず連絡して励ましています。私も野球をしていましたが、技術的なことはそんなに言いません。

◎広島での生活について、何と言っている？

・広島ファンは応援が凄いのので、ホームゲームはやる気が出ると言っていました。また、同い年の選手が数人いて仲が良いようです。彼の場合、小学校の頃からよい指導者と仲間恵まれていたように思います。

◎チーム内に親しい仲間がいるのはいいことですね。有り難うございました。

※今後も期待できそうですね。みんなで森翔平さんを応援しましょう！



青谷スポ少時代の森選手



現在広島カープの森選手

おわりに

9月24日に青谷小・中合同の「みらあおプロジェクト」の海岸清掃に参加しました。そこでの青中生徒会代表の挨拶に感心しました。

「ごみを拾うだけなら誰でもできるが、僕たちは自分たちの海だと思って拾うので心が入っている」と。そう言われて小学生も中学生も大人のボランティアも、自分たちの海だからと、暑い中、心をこめてごみ拾いしていました。まちづくりも、形の中に魂を入れるのは、子どもを含め私たち青谷に住む人たちだと改めて認識させられました。



青谷小・中に加えて、ボランティアとして地域の大人がたくさん参加していました